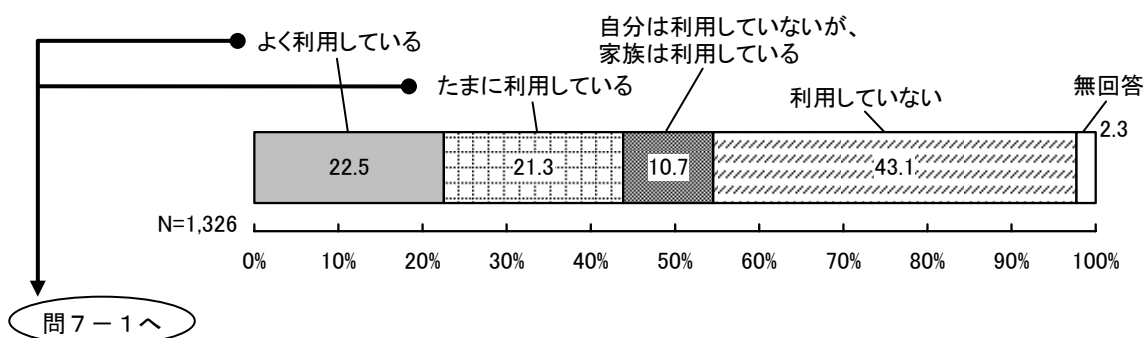


◇インターネット、広報について

問7 インターネットを利用していますか。(○は1つ)



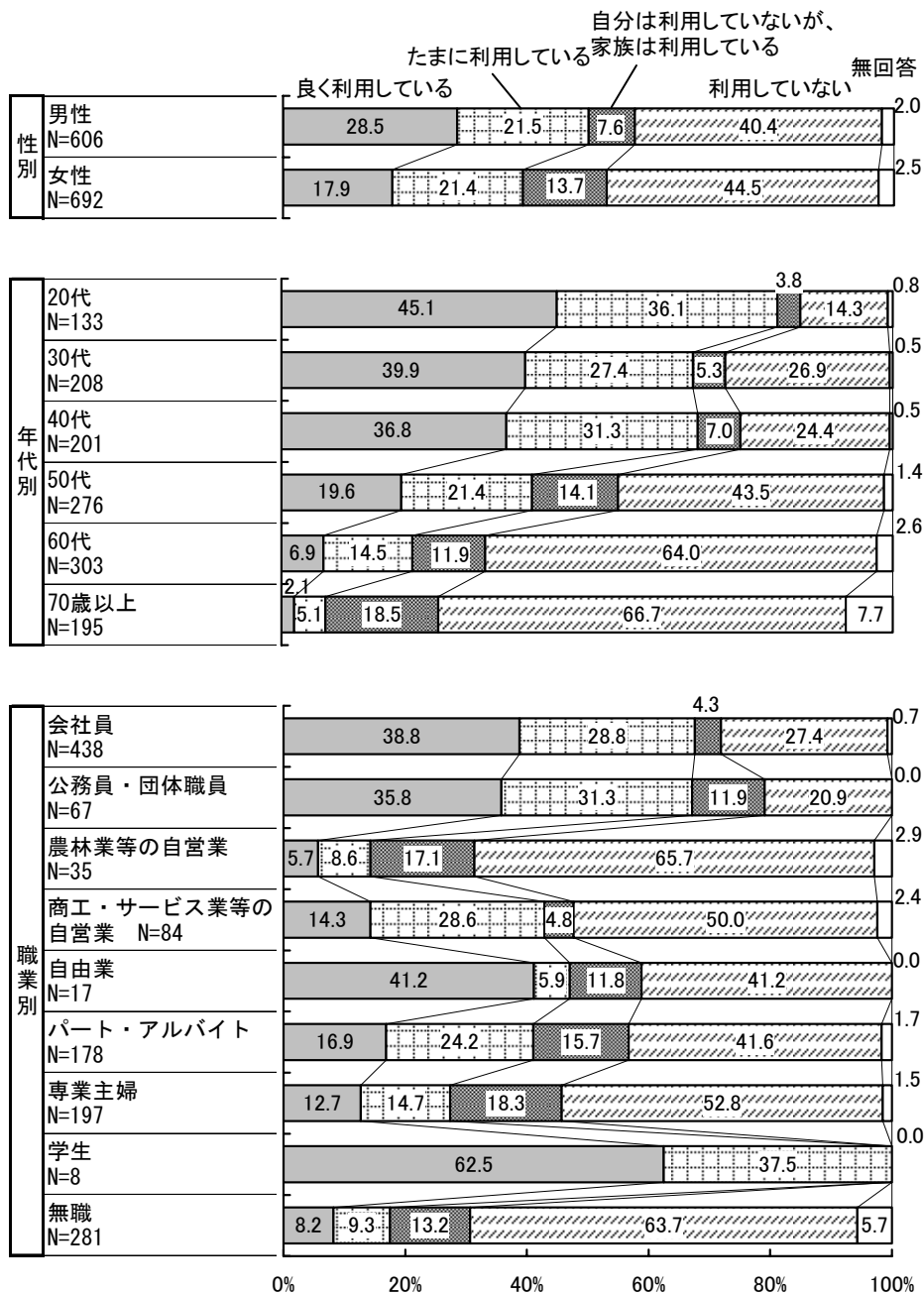
インターネットを“利用している”人は4割。

“利用している”割合は女性より男性が高く、また年代が低いほど高い。

インターネットの利用状況は、「よく利用している」が22.5%、「たまに利用している」が21.3%となっており、合わせた“利用している”人は4割となっている。一方、「自分は利用していないが、家族は利用している」が10.7%、「利用していない」が43.1%となっており、利用していない人が過半数を占めている。

【属性別】

◆インターネットの利用状況



性別にみると、男性の方が「利用している」割合が高くなっている。女性では「自分は利用していないが、家族は利用している」が男性の2倍近くになっている。

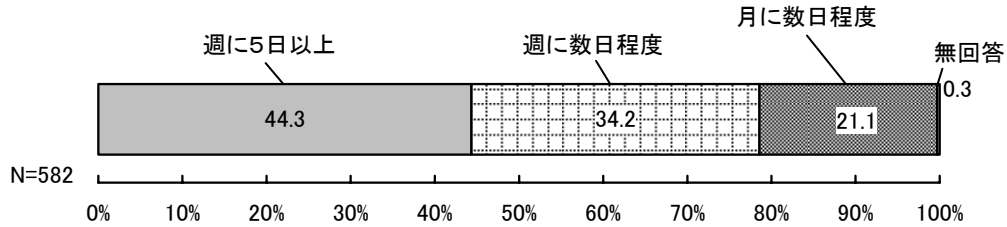
年代別にみると、「利用している」割合は年代が低いほど高い傾向となっている。「よく利用している」は40代まで4割前後となっており、目立って高い。一方、「利用していない」は年代が上がるほど高い割合となっている。

職業別にみると、会社員、公務員・団体職員で「利用している」が目立って高くなっている。回答者数が少なく参考程度だが、自由業や学生でも高く、特に学生は回答者全員が「利用している」と回答している。一方、農林業等の自営業、専業主婦、無職などは「利用していない」が目立って高い。

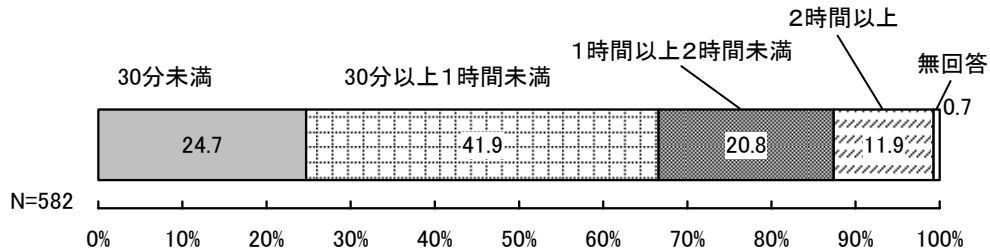
問7で「1」または「2」と回答された方にお聞きします。

- 問7-1 どのくらいの頻度でインターネットを利用していますか。(○は1つ)
- 問7-2 1日当たりのインターネットの利用時間はどのくらいですか。(○は1つ)
- 問7-3 インターネットを利用する目的は何ですか。(○はあてはまるものすべて)
- 問7-4 インターネットの利用媒体は次のどれですか。(○はあてはまるものすべて)

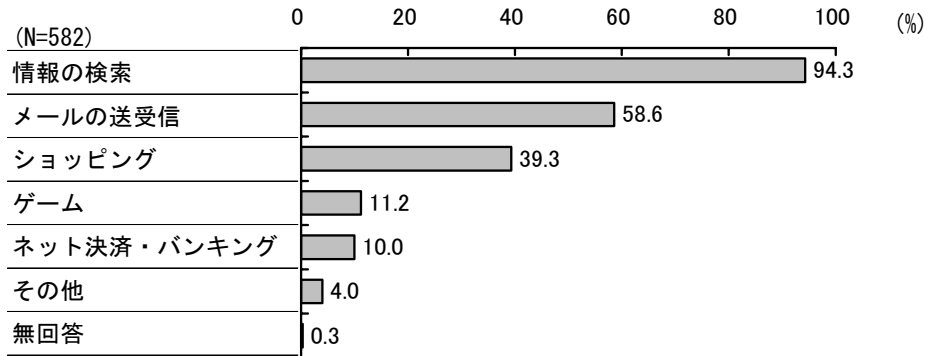
◆インターネットの利用頻度



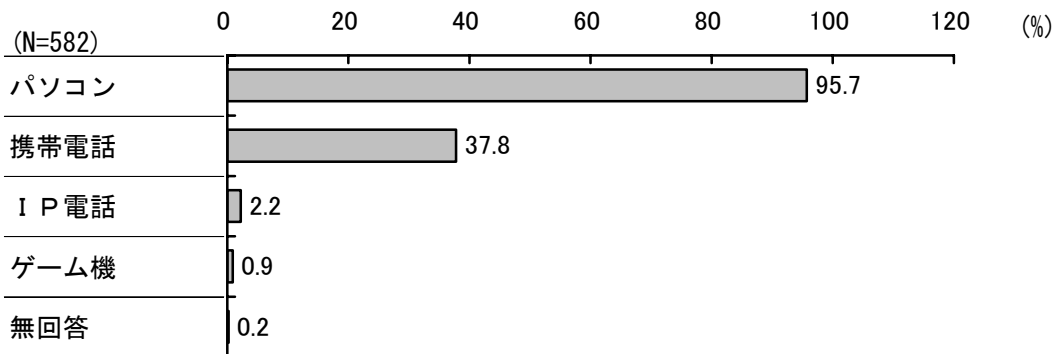
◆1日当たりのインターネットの利用時間



◆インターネットの利用目的



◆インターネットの利用媒体



問7-4-1へ

インターネットの利用頻度は「週に5日以上」が4割以上で、1日当たりの利用時間は“1時間未満”が過半数。利用目的は「情報の検索」、利用媒体は「パソコン」がそれぞれ9割以上。

インターネットを“利用している”人の状況をみると、インターネットの利用頻度は、「週に5日以上」が44.3%と4割以上を占めており、「週に数日程度」も34.2%と利用する人の利用頻度は比較的高めといえる。

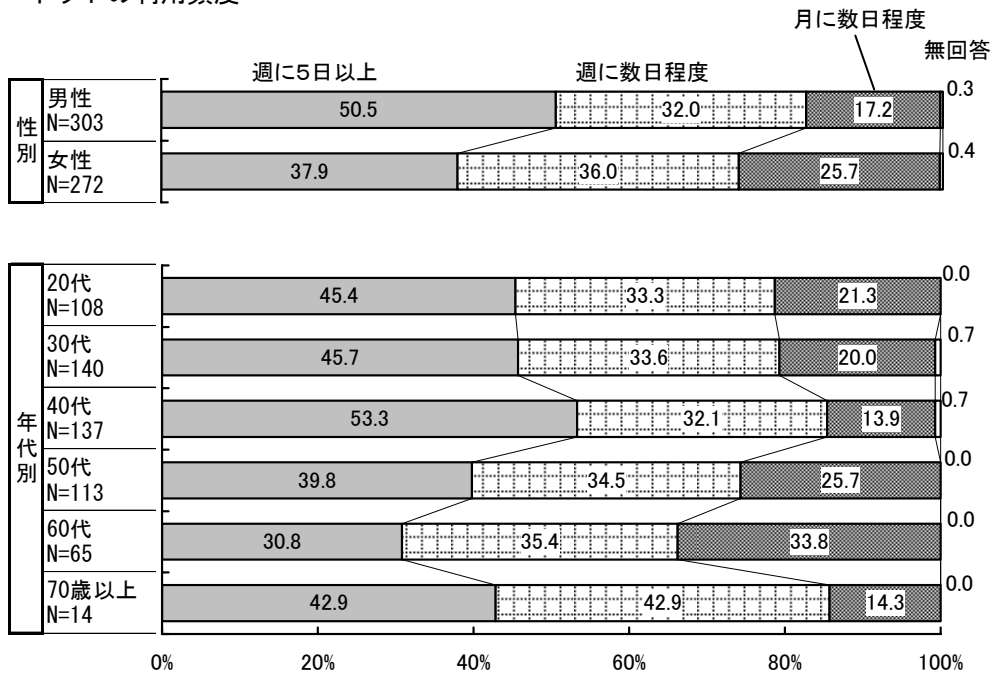
1日当たりのインターネットの利用時間は、「30分未満」が24.7%、「30分以上1時間未満」が41.9%と合わせて“1時間未満”が過半数を占めている。

インターネットの利用目的は、「情報の検索」が94.3%とほぼ全員が回答し、次いで「メールの送受信」が58.6%と過半数を占めており、「ショッピング」が39.3%と続く。「ゲーム」、「ネット決済・バンキング」は1割程度となっている。

インターネットを利用する媒体としては、「パソコン」が95.7%とほとんどで、「携帯電話」が37.8%と4割ほどになっている。

【属性別】

◆インターネットの利用頻度

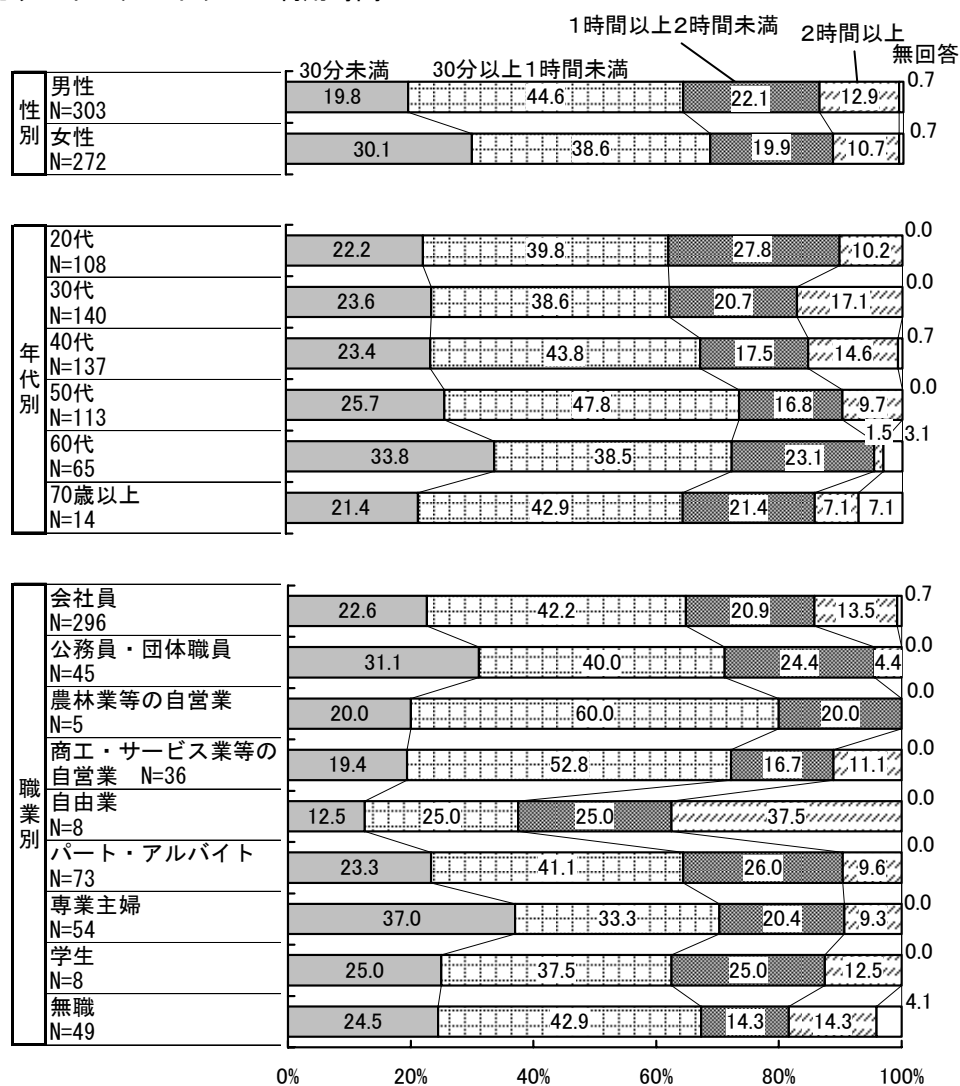


インターネットの利用頻度を性別にみると、男性は女性より頻度の高い回答の割合が高い。「週に5日以上」は男性で50.5%と過半数に達しているのに対し、女性では37.9%と4割弱にとどまっている。

年代別にみると、20代～40代で、「週に5日以上」の割合が半数前後と高くなっている。「週に5日以上」は40代で最も高く、53.3%と過半数に達している。一方、60代では30.8%と3割ほどで、「月に数日程度」が33.8%と他の年代に比べて高い。

【属性別】

◆ 1日当たりのインターネットの利用時間



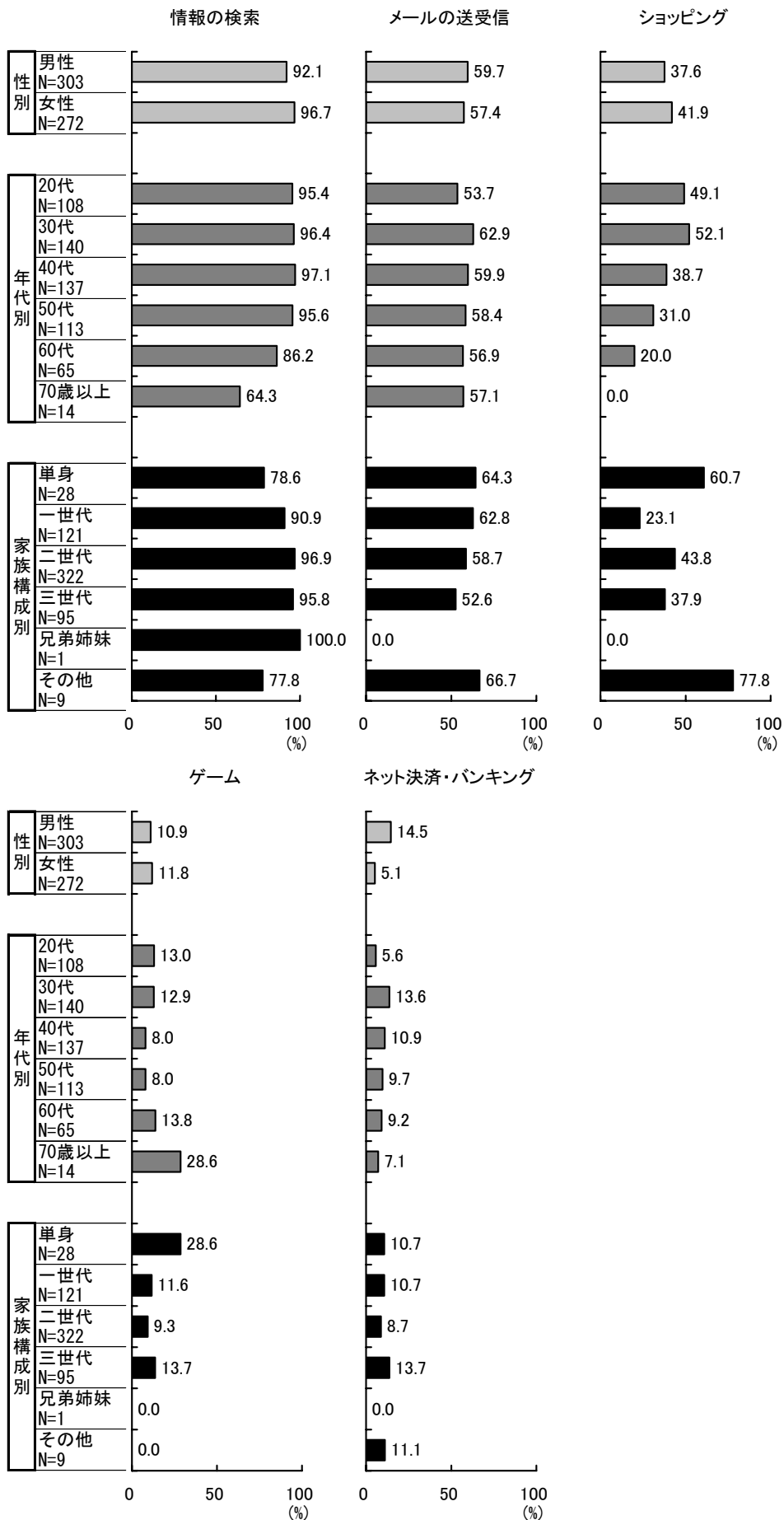
1日当たりのインターネットの利用時間を性別にみると、女性は男性より利用時間が短い回答の割合が高い。「30分未満」は男性では19.8%と2割であるのに対し、女性では30.1%と男性を10ポイント以上上回っている。

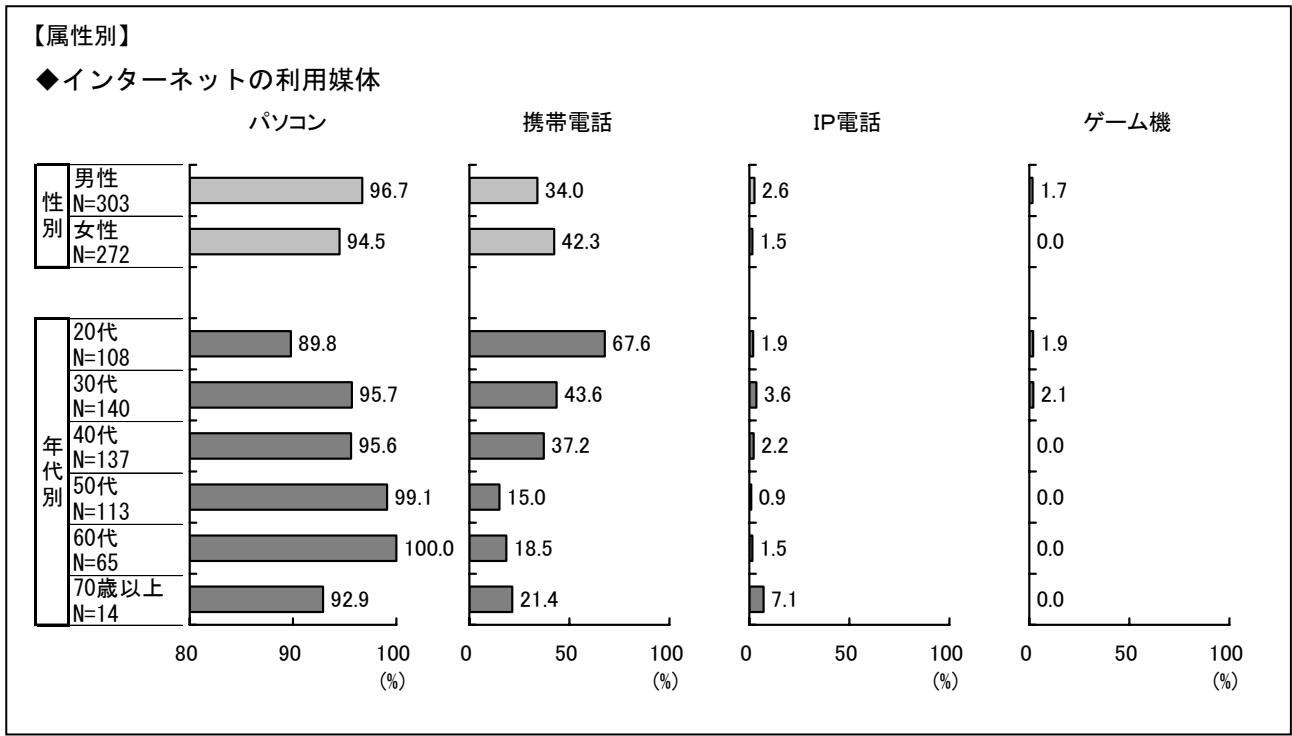
年代別では、おおむね年代が上がるほど利用時間の短い回答の割合が高くなる傾向である。一方、「2時間以上」は20代～40代で1～2割を占め、他の年代に比べ目立って高い。

職業別では、「30分未満」は公務員・団体職員や専業主婦などで高い。特に専業主婦では「30分未満」が37.0%と4割近くに達し、目立って高くなっている。一方、会社員、商工・サービス業等の自営業、無職などでは「2時間以上」が1割を超えて比較的高くなっている。

【属性別】

◆インターネットの利用目的





前頁のグラフのようにインターネットの利用目的を属性別にみると、性別では大差がみられるのは、「ネット決済・バンキング」のみで、男性が女性を10ポイント近く上回っている。

年代別にみると、「情報の検索」は30代、40代で高くなっている。「メールの送受信」、「ショッピング」、「ネット決済・バンキング」は30代が最も高く、以降おおむね年代が上がるほど割合が低くなっている。「ゲーム」は20代、30代と60代、70歳以上で1割以上となっている。

家族構成別にみると、二世帯・三世帯では「情報の検索」が高くなっている。単身では「ショッピング」が6割を超え、「ゲーム」も3割近くになっている。また、「ショッピング」は一世代の割合が2割と目立って低いなど、同居家族数や世代数の違いで利用目的が異なっていることがうかがえる。

インターネットの利用媒体を性別にみると、「携帯電話」は女性が男性を8.3ポイント上回っている。

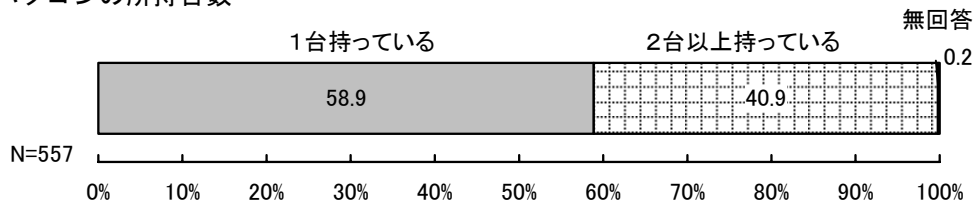
年代別にみると、年代が上がるほど「パソコン」が高くなり、「携帯電話」が低くなる傾向である。「IP電話」は70歳以上で比較的高い。「ゲーム機」は20代、30代にのみ回答がある。

問7-4で「1」と回答された方にお聞きします。

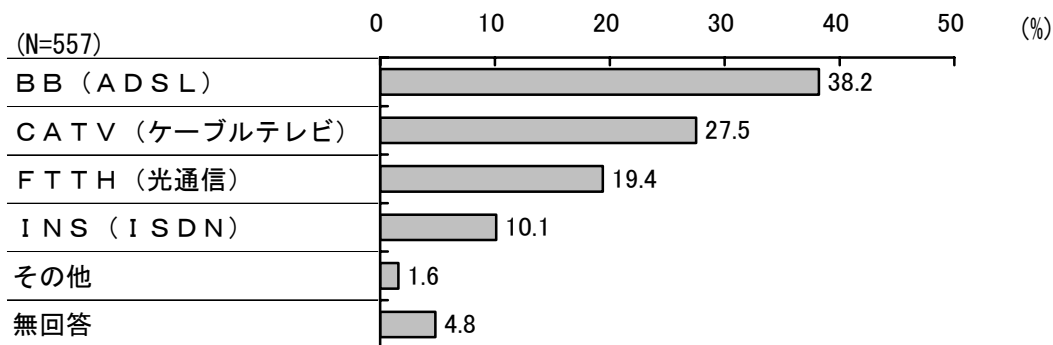
問7-4-1 あなたの世帯では、パソコンをいくつお持ちですか。(〇は1つ)

問7-4-2 利用回線は次のどれですか。(〇はあてはまるものすべて)

◆パソコンの所持台数



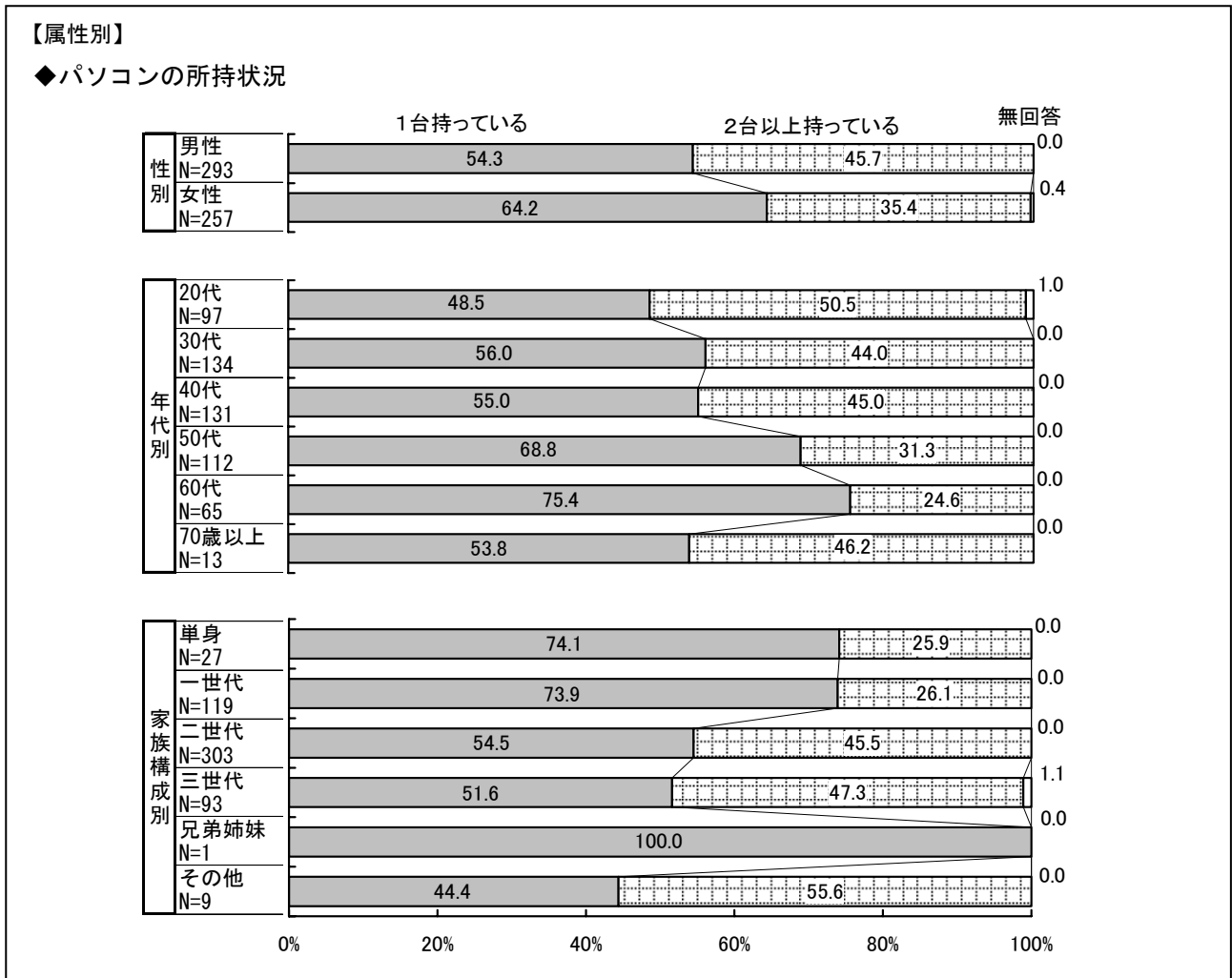
◆利用回線



パソコンの所持台数は「1台」が6割で「2台以上」を大きく上回る。
 利用回線は「BB (ADSL)」、「CATV (ケーブルテレビ)」が3~4割。

パソコンでインターネットをすると回答した人の状況を見ると、パソコンの所持台数は、「1台持っている」が58.9%と6割を占め、「2台以上持っている」の40.9%を大きく上回っている。

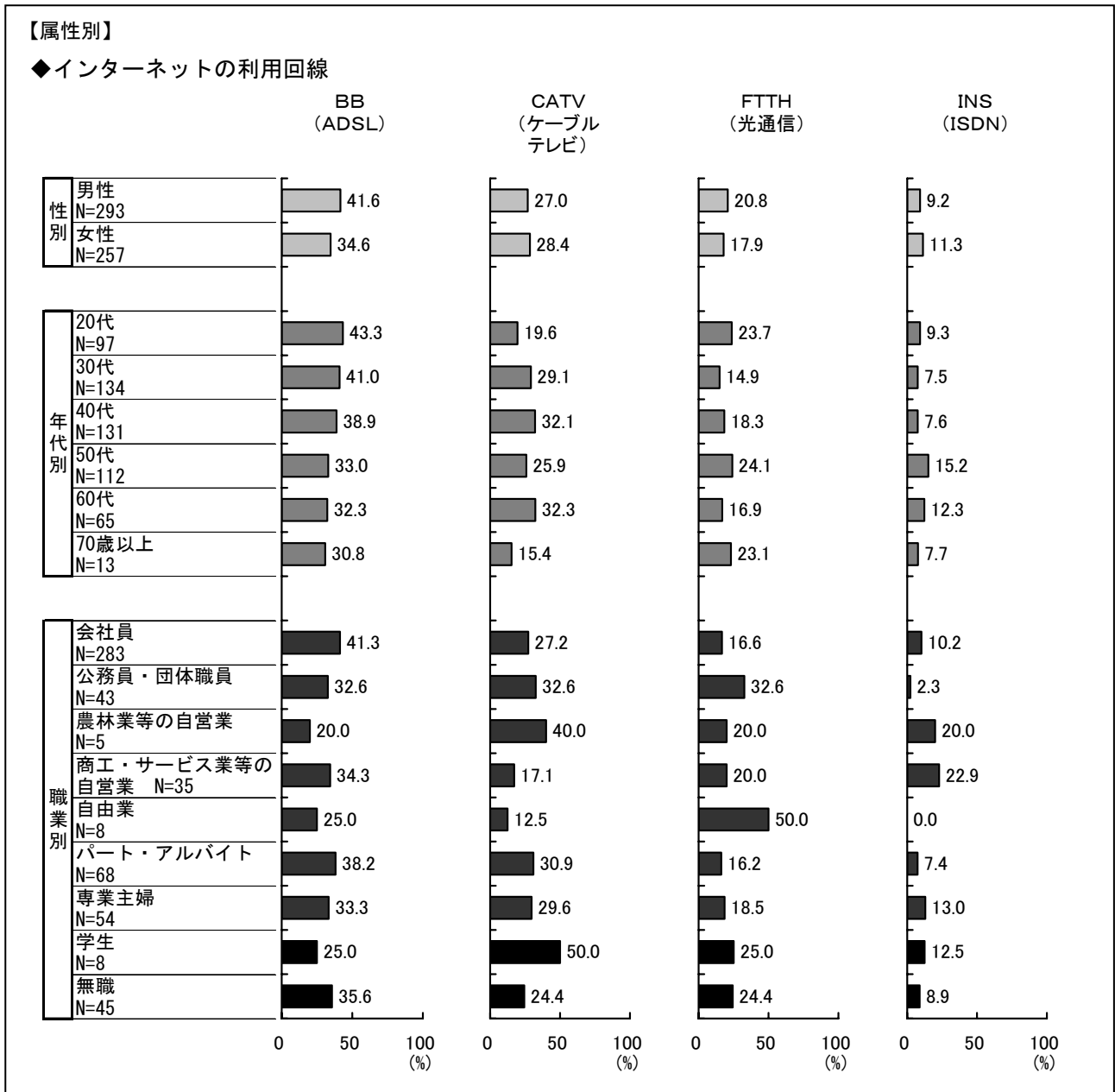
インターネットの利用回線は、「BB (ADSL)」が38.2%、「CATV (ケーブルテレビ)」が27.5%と3~4割となっており、おおむねこの2種類が主といえる。



パソコンの所持台数を性別にみると、「1台持っている」は性別にかかわらず過半数を占めているが、特に女性はその割合が6割を超える。

年代別ではおおむね年代が上がるほど「1台持っている」が高くなる傾向である。20代でのみ「1台持っている」を「2台以上持っている」が上回っている。

家族構成別では、同居家族数や世代数が多いほど所持台数が増える傾向である。「1台持っている」は単身や一世代では7割を超えているが、二世世代や三世代では半数ほどに落ち込んでおり、逆に「2台以上持っている」が単身や一世代の2倍近くになっている。

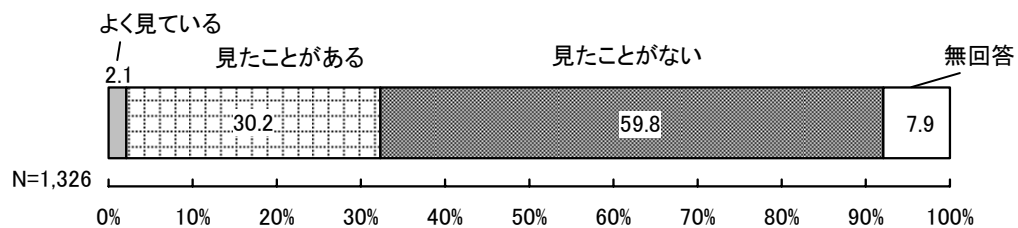


インターネットの利用回線を性別にみると、大差は見られないが、「BB (ADSL)」は男性が女性よりやや高い。

年代別にみると、「BB (ADSL)」は年代が上がるほど割合が低くなる。「CATV (ケーブルテレビ)」は30代、40代、60代で3割前後となっている。一方、「FTTH (光通信)」は20代、50代、70歳以上で2割台になっている。

職業別にみると、「BB (ADSL)」は会社員やパート・アルバイトで4割前後と比較的高くなっている。「CATV (ケーブルテレビ)」には学生の半数が、「FTTH (光通信)」には自由業の半数 (それぞれ4人) が回答している。また「CATV (ケーブルテレビ)」には農林業等の自営業5人中2人も回答している。

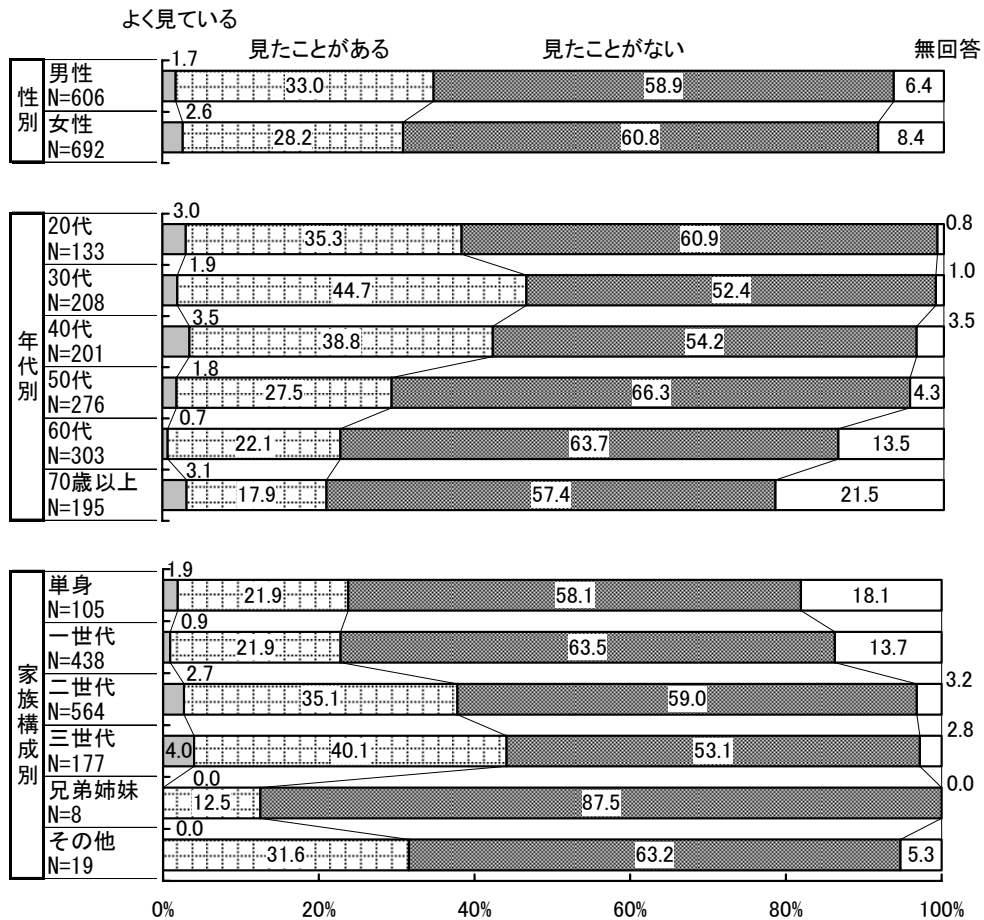
問8 あなたは裾野市のホームページをみたことがありますか。(○は1つ)



裾野市のホームページの閲覧経験は、「見たことがない」が6割。
おおむね年代が低いほど“見たことがある”割合が高い。

裾野市のホームページの閲覧経験は、「見たことがない」が59.8%と6割を占め、“見たことがある”（「よく見ている」＋「見たことがある」）人は3割ほどとなっている。

【属性別】

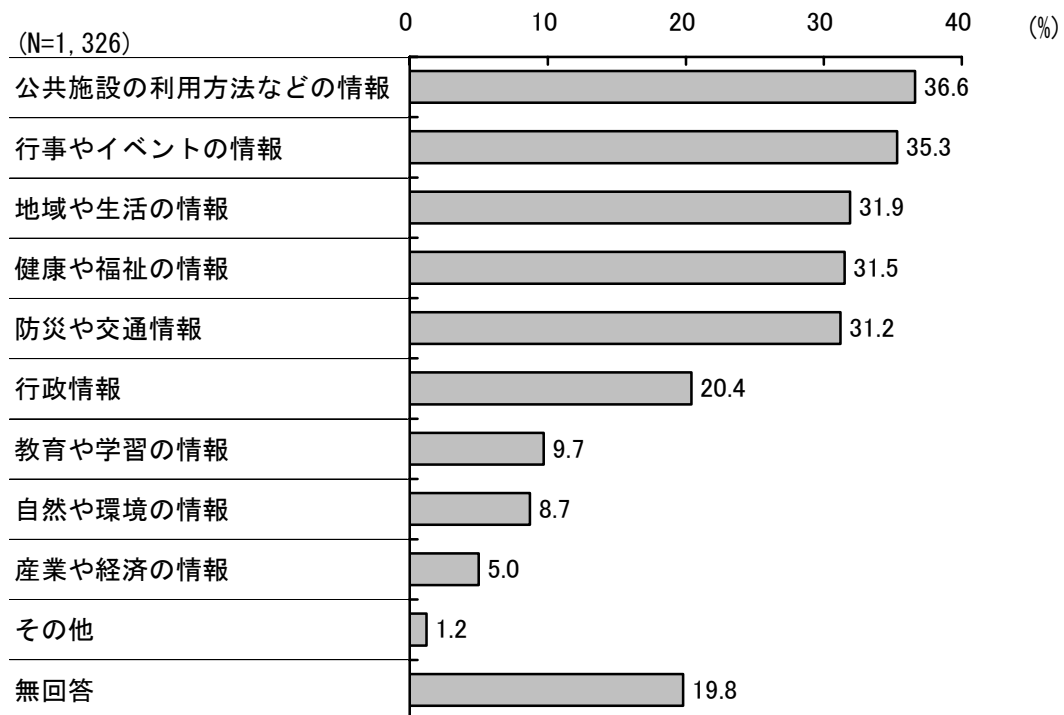


属性別にみると、性別では「見たことがある」は男性が女性よりやや高いが、いずれも大きな差は見られない。

年代別では、おおむね年代が低いほど“見たことがある”割合が高い傾向である。

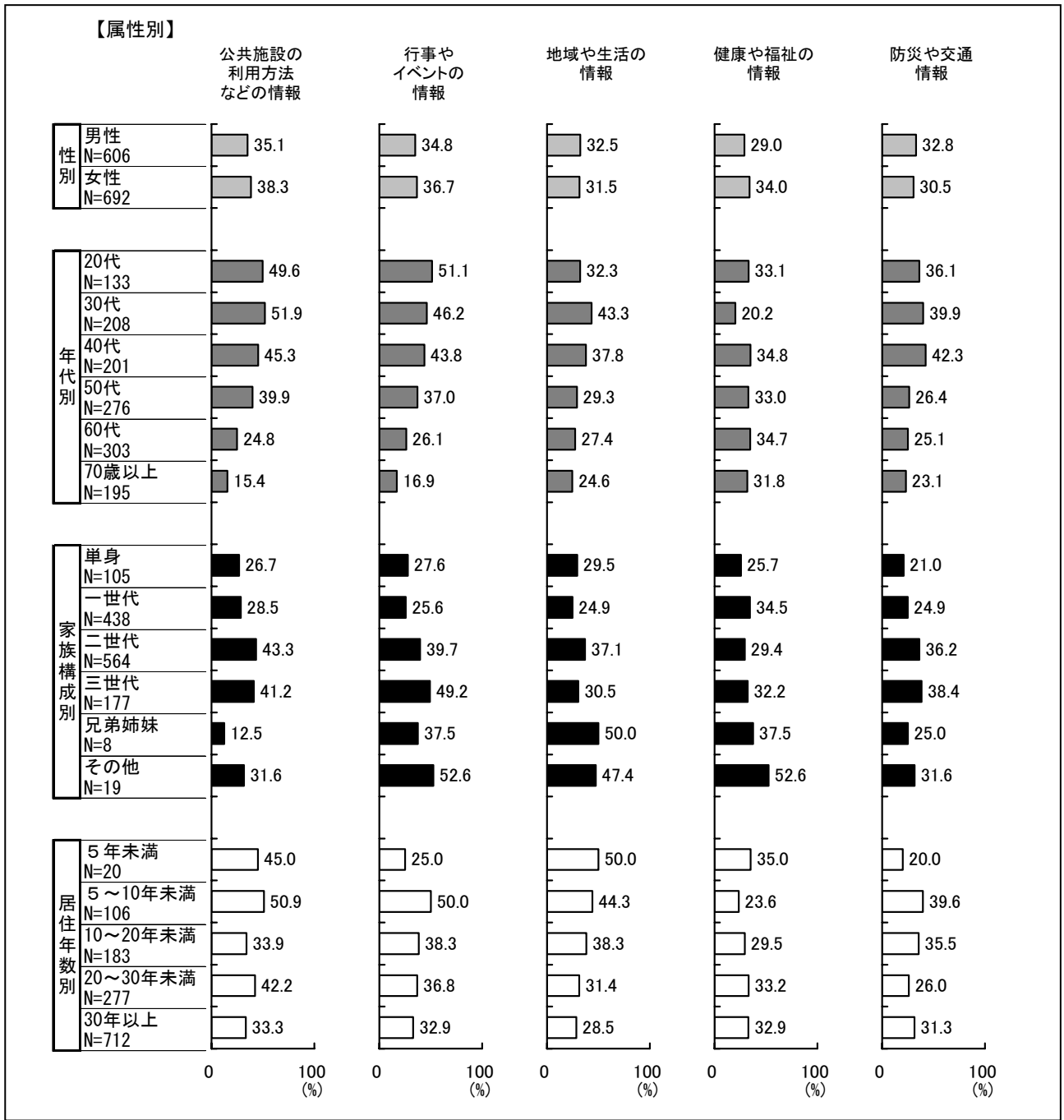
家族構成別では、同居家族数や世代数が多いほど“見たことがある”割合が高くなる傾向である。単身や一世代では“見たことがある”割合は2割強だが、三世帯では半数に近づいている。

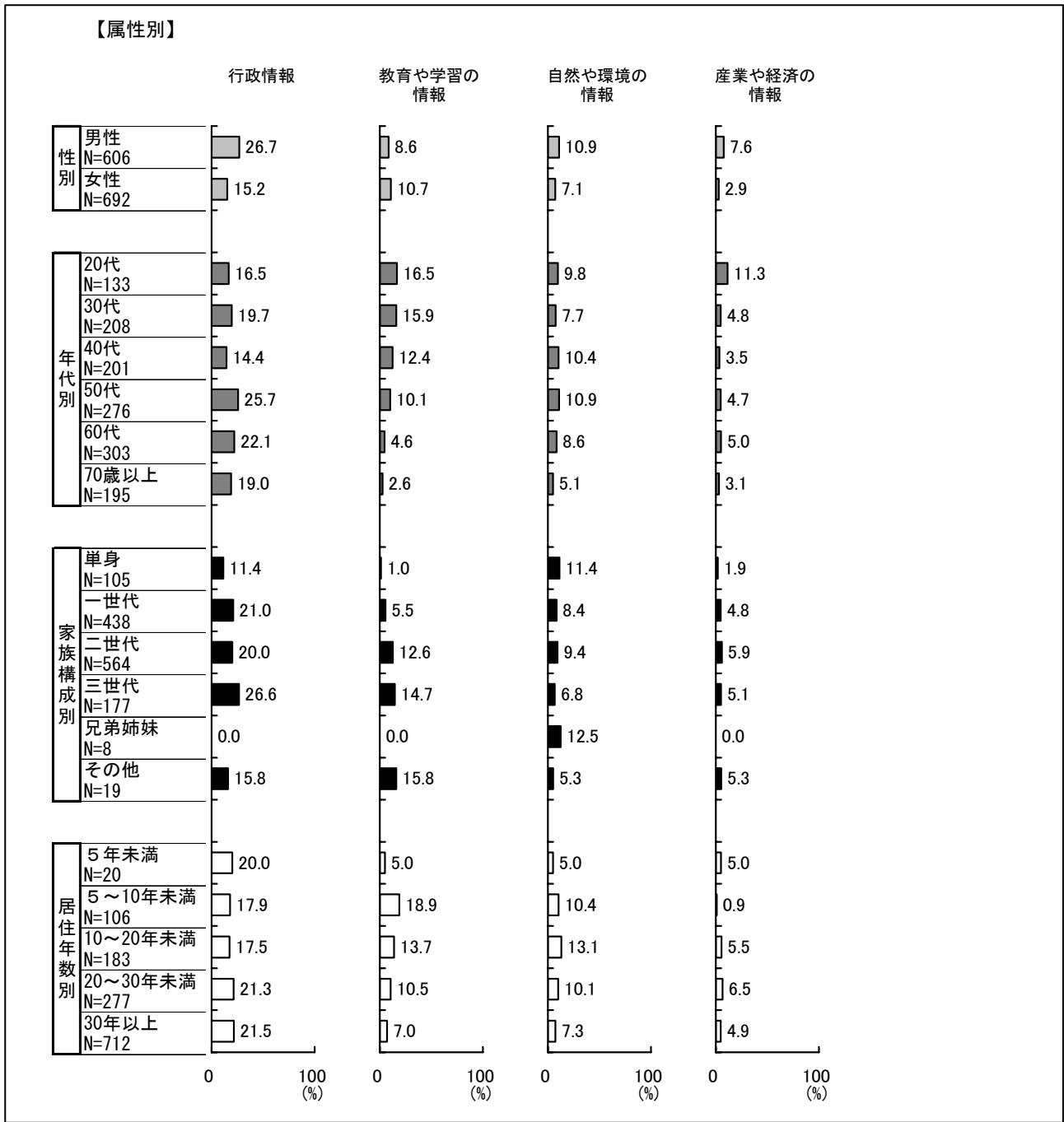
問9 あなたは裾野市のホームページにどのような情報提供を期待しますか。(〇は3つまで)



裾野市のホームページに期待する情報は、「公共施設の利用方法」、「行事やイベント」、「地域や生活」など。ほぼすべての項目で、おおむね年代が低いほど割合は高い傾向。

裾野市のホームページに期待する情報は、「公共施設の利用方法などの情報」が 36.6%と最も高く、次いで「行事やイベントの情報」が 35.3%とほぼ同率となっている。以下「地域や生活の情報」(31.9%)、「健康や福祉の情報」(31.5%)、「防災や交通情報」(31.2%)までが3割台となっている。





性別にみると、「行政情報」は男性が女性より 10 ポイント以上差をつけて高い。他の項目は、「健康や福祉の情報」や「産業や経済の情報」に 4～5 ポイントの差があるほかは、大きな差は見られない。

年代別にみると、「行政情報」を除いてどの項目においてもおおむね年代が低いほど割合は高い傾向となっている。特に「公共施設の利用方法などの情報」、「行事やイベントの情報」、「教育や学習の情報」はその傾向が顕著である。一方、「行政情報」はその傾向が逆転しており、年代が上がるほど高い割合となっている。

家族構成別にみると、二世帯や三世帯では「公共施設の利用方法などの情報」、「行事やイベントの情報」、「防災や交通情報」などで、他の世帯より割合が高くなっている。

居住年数別にみると、5年未満や5～10年未満など、居住年数の比較的短い家庭では「公共施設の利用方法などの情報」や「行事やイベントの情報」、「地域や生活の情報」などの割合が高い。